



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'96 9月号



秋期特別展

十九路に道を求めた棋士

—木谷 實—

会期 十月一日～十一月二十九日

木谷實（きたに・みのる）九段が惜しまれて亡くなってから20年余の月日が経ちます。木谷實九段は、明治42年、神戸市に生まれ、日本棋院理事、日本棋院棋士会長を歴任しました。木谷實九段は、昭和12年市内桃浜町に移り住んでから、自宅に囲碁道場を開き、多くのプロ棋士を育てます。そして現在、木谷門下のプロ棋士は50人を超えます。こうした木谷氏の足跡と人物像を紹介する目的で、来る10月1日から11月29日までの2カ月間、「十九路に道を求めた棋士—木谷 實—」をテーマとした特別展を開催します。この特別展では、木谷九段の遺品や棋譜、棋書のコレクション等を展示する予定です。

関連事業

●「木谷道場を語る—平塚木谷道場の日々—」

日 時：9月7日（土）14時～16時

会 場：平塚市中央公民館ホール

出席者：大竹英雄九段、加藤正夫九段、戸沢昭宣九段、筒井勝美四段

司 会：小川誠子六段

申込み：はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒254 平塚市追分1-20 平塚市中央公民館へ。

定 員：先着700名

また、11月3日（日）には、木谷門下のプロ棋士15名が木谷ファン・囲碁ファンの指南をする多面打ちの会が市内で開催されます。くわしいことは、10月号の「あなたと博物館」をご期待ください。

●「木谷實特別展記念公開対局会」

第1部「木谷實思い出の名局・名場面」

解説者：石田芳夫九段

第2部「木谷實特別展記念公開対局会」

対局者：張 栩四段 対 小林泉美初段

解説者：小林光一九段

記 録：酒井真樹五段・金沢秀男三段・穂坂 龍二段・河野 臨初段・袴 陽子初段

日 時：10月10日（木）13時～16時30分

会 場：平塚市中央公民館ホール

申込み：はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒254 平塚市浅間町12-41 平塚市博物館へ

定 員：先着700名

特別展「動く大地を読むー流域の1億年と平塚の地盤」の紹介

●平塚の地盤のはなし

☆みゆきさん。ここでは、平塚の地盤がどのようになっていて、地形や防災の側面からどのように考えられるのかお話ししましょう。



★わかりやすくお願いします。

☆まず、地形の話からしましょう。平塚の平野は地形的には大きく2つにわけられます。1つは豊田～真土より南の地域です。この地域は海岸に形成された砂州・砂丘地帯で砂地の地盤からなっています。砂州ってわかりますか？

★砂丘なら知っているんですが。

☆平塚海岸にいくと砂丘が見られますが、砂丘は海浜に打ち上げられた砂が風により運ばれて高くなったものです。砂州は波により打ち上げられた砂の高まりをいいます。市役所の前にある平塚八幡宮の森はかつての砂丘のなごりです。中原の諏訪神社や真土神社などには、現在も砂丘の高まりが残っています。八幡宮の前や後は砂丘の間にあった凹地で、かつて湿地であったところですよ。

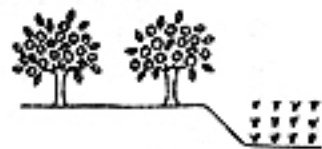
★自転車で走ると平野でも高いところと低いところとありますよね。



☆そうですね。高いところは砂地、低いところは湿地だったところと考えていいでしょう。高いところの方が水はけが良くて地盤が良いことになります。

★一つは砂州や砂丘地帯ということがわかりましたが、もう一つは何なのでしょう。

☆平塚の平野の北側や花水川の西側に広がる平野は、相模川や金目川の氾濫により形成された平野で、自然堤防地帯と呼ばれます。自然堤防地帯は、川が氾濫した時に粗い砂を川沿いに堆積させてできた自然堤防と、その背後にあふれた水が運んだ細かな泥から



なる後背湿地からなります。自然堤防はまわりより僅かに高いので集落・畑・果樹園に利用され、後背湿地は水はけが悪いので水田として利用されています。

★昔から地形をうまく利用して生活してきているんですね。

☆こうした平野の地形はその地形を作る地層と深い関係があるわけです。みゆきさん、建物を作る時にボーリングという調査をしますよね。

★建物の基礎を調べるんですよ。

☆そうです。基礎をどこに作ったらよいか、どのような工事方法を行ったらよいかを調べるんです。ボーリング調査でN値というのがあります。

★N値って何ですか？

☆重さ63.5kgの重りを70cmの高さから落下させ、何回重りを打ち込めば30cm沈むかを表した数値です。従って硬い地盤では50回打っても30cm沈みませんが、軟らかい地盤では1回打って30cm以上沈んでしまいます。ひどい場合は重りをのせただけで沈んでしまいます。このN値が10以下の場合、一般に軟弱地盤と呼ばれます。砂丘の間の凹地や水田の後背湿地、かつての川の跡、谷戸田の谷底平野などが粘土質の地層からなり、水を多量に含んで軟弱地盤となっています。

★地震に対して軟弱地盤はよわいわけですね。

☆そうです。軟弱な地盤では、同じ地震の揺れでも、大きく感じたり、被害が大きくなったりします。地震道などというのがそうですね。

★液状化もそういう地盤で起こり易いのですか。

☆液状化は緩い砂の地盤で、地下水位が高い場合によく起こりますから、必ずしも軟弱地盤がすべて液状化しやすいということではありません。過去の液状化の記録を見ると、砂丘の縁辺部や自然堤防地域で多く発生しているようです。相模川沿いと金目川沿いが関東大震災ではかなり液状化したようです。特別展では博物館で調べた結果が展示してありますからよくみて下さい。

☆展示内容をくわしく知りたい人は特別展図録を読んでください（受付にて、1000円で販売中）

流れ星の降る夜(しし座流星群編)

投影期間：9月7日(土)～11月17日(日)

流れ星は、いつも夜空にある星が流れてしまうわけではありません。宇宙に浮かぶちりのようなものが地球に飛び込んできて、大気と衝突し、光を放つ現象です。流星は年間を通してみると多い時期がだいたい決まっています。これはおもに流星群の活動によるものです。夏のペルセウス座流星群、冬のふたご座流星群などが流星数の多い群として有名ですが、中には、ある年数をおいて急に激しい出現を見せる流星群があります。1966年に北アメリカの夜空に1分間に1000個もの流星を雨のように降らせたしし座流星群はその代表格で、33年の周期を持っています。いよいよまもなくその大出現の周期がやってこようとしているわけで、今月のプラネタリウムでは、これを紹介することにしました。今年、しし座流星群の活動の極大は11月17～18日の夜で、夜半から明け方にかけては月がなく、観測条件は良好です。



みんなで調べよう

ひっつき虫ってなんだろう？

参加者募集

博物館では「みんなで調べよう」の今年のテーマとして「ひっつき虫」を取り上げることにしました。ひっつき虫とはいったいなんなのでしょう。虫という字がついていますが、ひっつき虫は虫ではありません。草の実です。そう言われると、もうピンときた人も多いでしょうが、秋の草むらを歩いていると、靴下やズボンにたくさんの草の実がつくことがあります。それがひっつき虫の正体です。

ひっつき虫には多くの種類があり、服へのつき方もいろいろです。オナモミやキンミズヒキは先が少し曲がったとげをたくさん持っています。イノコズチの実にはヘアピンのような部分があって、繊維にささります。チヂミザサやノブキは粘りのある実を持っていて、それでひっつきます。そうした、いろいろなひっつき虫を探して記録しようというのが、今回の調査です。

ひっつき虫を調べると、どんなことが分かるのでしょうか。まず、ひっつき虫がたくさんつくような草むらがどこに残っているかを知ることができます。街の中の空き地は舗装されたり駐車場になったりして、意外なほど草むらが少ないのです。またオナモミの仲間にはいくつかの種類があります。もともと日本にあったオナモミは今では少数派で、外国から来たオオオナモミがはびこり、さらに最近ではイガオナモミという種類も増えてきています。どのオナモミが生えているかを調べることで、その地域の自然の残り方も知ることができるのです。

今回の調査は、環境庁の身近な生きもの調査とタイアップして行われるので、平塚で調べたことが、全国の結果と比較していくことができます。そんなことも楽しみに、ぜひ参加してください。



▲ひっつき虫の仲間

*日時や申込方法については4頁をご覧ください

9月の行事予定

1	日	地質調査会(野外)
7	土	こども観察会「クツワムシの声を聞こう」 (秦野市弘法山) 地質調査会(館内) ○講演会「木谷道場を語る」(中央公民館)
8	日	民俗探訪会「八王子道を歩くⅠ」 (八幡～四之宮)
12	木	石仏を調べる会(本宿)
14	土	◎漂着物を拾う会 古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会
18	水	地質調査会(館内)
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
26	木	石仏を調べる会(本宿)
28	土	古文書講読会
29	日	○みんなで調べよう「ひっつき虫調べ」(館内) 相模川の生き立ちを探る会 「海辺の石の由来」(二宮～国府津海岸) 古代遺跡を探す会

10月の行事予定

1	火	◎秋期特別展「木谷実展」(至:11月29日)
5	土	地質調査会
6	日	民俗探訪会(田村～大神)
10	祝	○特別展記念公開対局会(中央公民館)
11	金	◎星を見る会「木・土星を見よう」
12	土	◎漂着物を拾う会(平塚海岸) 平塚の空襲と戦災を記録する会 古文書講読会 天体観察会「秋の星空と外惑星」(大磯)
13	日	○自然観察会「秋の河原を訪ねて」 相模川の生き立ちを探る会(山北町平沢)
16	水	裏打ちの会 地質調査会(館内)
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
20	日	古代遺跡を探す会
24	木	石仏を調べる会
26	土	○体験学習「藁草履を作ろう」 古文書講読会
27	日	地質調査会(野外)
31	木	閉館

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

☆イブニングミュージアムのお知らせ☆
特別展期間中の金曜日は午後7時まで開館します。

●特別展

「動く大地を読むー流域の1億年と平塚の地盤ー」

・会期:9月15日(日)まで

「木谷実展」

・会期:10月1日(火)～11月29日(金)

☆特別展記念公開対局会

・日時:10月10日(祝)14:00～

・会場:中央公民館ホール

・申込:はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「対局会」係へ

・定員:先着700名

●寄贈品コーナー

「相模川の生き立ちを探る会の活動」

・会期:9月15日(日)まで

「実習生の展示」

・会期:9月20日(日)～10月30日(水)

●プラネタリウム一般投影

「流れ星の降る夜～しし座流星群編～」

・期間:9月7日(土)～11月10日(日)

・投影日:土・日曜日

・時間:①11:00 ②14:00 ・観覧料:100円

募集行事

●みんなで調べよう「ひっつき虫調べ」

環境庁の身近な生きものの調査に参加して、服につく草の実について調べます。参加者には調査の手引きを配付し、それぞれの分担地域で調べていただきます。予備知識は必要ありません。

・日時:9月29日(日)10:00～12:00 ガイダンス

11月2日(土)14:00～16:00 まとめ

・場所:博物館

・〆切:9月20日(金)

*小学4年生以下は保護者同伴をお願いします。

●自然観察会「秋の河原を訪ねて」

河原の植物やバッタ類の観察をします。

・日時:10月13日(日)13:30～16:30

・場所:平塚市田村付近の相模川

・〆切:10月5日(土)

*申込:往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「〇〇〇係」へ

漂着物を拾う会

海岸に打ち上げられた動植物や人工物を拾い調べます

・日時:9月14日(土)9時30分～11時

・場所:平塚海岸

・集合:花水川橋平塚側たもと記念碑前

・参加:自由

あなたと博物館 21巻 6号 通巻235号 03000 発行 平塚市博物館
〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949